

2021 年度の観光客向けプログラム実施について

新型コロナウイルスの感染拡大リスクに鑑み、室内で実施するプログラム（ウミガメ教室、クジラ教室、他）については、推奨されるガイドライン（日本博物館協会策定ガイドライン、小笠原村の行動指針、等）を参照し、室内展示や来客時の対応などを以下の通り実施することといたします。

※あくまで 2021 年 3 月現在における対応策であるため、今後コロナの収束度合いによって対応が変わってくる可能性があります。

【プログラム実施にあたって対応策】

- 展示館内では、人の動線を考え、人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にします。
- 人が触れた箇所には頻繁にアルコールで拭く・手指消毒剤等を使用して、洗浄・消毒を行うよう努めます。
- 人と人との間に一定の距離を保てるよう、人員配置について最大限の見直しを行うよう努めます。
- 定期的な手洗いや手指消毒に必要な水道設備や石けん、手指消毒液などを配置します。
- 展示館内のレクチャーは最大人数 12 人（大人・子供合計、長いベンチに 3 人ずつ）とします。
- お客様・海洋センタースタッフともに発熱や体調不良を認めた時は、プログラムを中断し、保健所、医療機関の指示に従うなど適切な対応を行います。また、感染者の行動範囲を踏まえ、感染者が触れた箇所を消毒し、同場所に居合わせたお客様・海洋センタースタッフに宿・自宅に待機させることを検討いたします。
- プログラム参加者に感染者の疑いがある方がいた場合、その方からキャンセル料は受け取りません。（返金に関しましては旅行終了後に旅行会社からご連絡させていただきます。）

【お客様に準備・対応いただく事項】

- ご来島時に、小笠原海運が実施する、おがさわら丸乗船前の PCR 検査を受けてくださいますようお願いいたします。
- マスク着用など飛沫防止の徹底をお願いいたします。
- 三密を避ける行動をお願いいたします。
- 展示物には手を触れないようお願いいたします。
- プログラム開始時・休憩後を含め、定期的な手洗い、手指消毒の徹底をお願いいたします。
- プログラム参加前に感染の疑いがある場合は、速やかにご申告ください。